

第6回ACAP消費者志向活動表彰「消費者志向活動章」 ～キラリと光る活動を表彰～

公益社団法人消費者関連専門家会議(通称・ACAP)は、今年度の第6回「消費者志向活動章」を、5つの活動に対して授与することを決定し、2月25日開催の「ACAP消費者志向経営推進シンポジウム」において発表、表彰式を執り行いました。

ACAPは、消費者志向経営の推進支援を目的とする「ACAP消費者志向活動表彰制度」を2015年に創設し、毎年、企業・団体等が行う活動で消費者志向経営を推進または支援する観点から称賛に値するものに、「消費者志向活動章」を授与しております。

今後も、本制度が消費者志向経営推進の一助となることを目指して、活動に取り組んでまいります。

1. 「消費者志向活動章」受章者・活動内容

(五十音順)

活動名 (企業団体名)	小児がんの子どもたちを応援するアヒル型ロボット My Special Aflac Duck の展開 (アフラック生命保険株式会社)
【活動内容】	入院中の小児がん患児の気持ちを和ませ、周囲との円滑なコミュニケーションの形成を支援することを目的として、2018年に米国のアフラックが開発したアヒル型ロボット My Special Aflac Duck を、2019年に日本のアフラックでも導入。長年小児がんに関する社会貢献活動を展開している同社では、チャリティや啓発活動などの間接的な取り組みに加え、小児がんの治療や患児・ご家族の支援に取り組む病院や支援団体を通じて、このダックを患児の手元に直接届けることで、患児とご家族をより近い場所から支援している。2020年10月末までに25の病院・団体を通じて、389羽を贈呈。
【評価ポイント】	同社は長年小児がん支援活動を展開しているが、今回の取り組みはそれを進化させている。患児とご家族に寄り添う素晴らしい活動であり、称賛に値する。今後の取り組みの広がり期待したい。
活動名 (企業団体名)	「エシカル消費を広げます」 (大阪いずみ市民生活協同組合)
【活動内容】	エシカル消費の推進のための商品政策、食品廃棄の削減、消費者啓発などの施策を事業と連動させ推進。エシカルな商品の普及、子ども食堂や社会福祉協議会への食品の提供の他、楽しみながらSDGsが学べるオリジナルSDGsかるたを制作、無料ダウンロード配布。「食の安全」と「食育・食べることの大切さ」を学ぶことのできる体験型ミュージアム「コープラボ たべる*たいせつミュージアム」を和泉市で運営、2019年12月現在来館者は10万人を超えている。
【評価ポイント】	SDGsへの取り組みとしてエシカル消費を広げること、地域を巻き込んで取り組んでおり、目標や実績も数値で“見える化”している。特に、和泉市での体験型ミュージアム「コープラボ たべる*たいせつミュージアム」の運営、泉州弁のオリジナルSDGsかるたの制作などは独自性があり、称賛に値する。

活動名 (企業団体名)	損害保険業界初の通信型ドライブレコーダー保険商品の発売 (東京海上日動火災保険株式会社)
【活動内容】 通信型ドライブレコーダーを活用した保険商品「ドライブエージェントパーソナル」は、契約者に貸与するオリジナルドライブレコーダーに、事故後の映像の活用のみならず、日常の急操作や車線逸脱を警告する安全運転支援機能、さらに運転者が最も不安に感じる事故発生直後に自動車への強い衝撃を感知し、電話がつながる「事故時の自動発報・通話機能」を備える。「事故が起こる前」及び「事故が起きた直後」の支援を具現化した先進的なサービスで、2017年4月に業界で初めて個人向け自動車保険として販売を開始し、2020年9月末時点で契約台数は約40万台。	
【評価ポイント】 最先端の技術を取り入れた画期的な商品の開発。事故時に自動的に通信がつながる等、ドライバーの安心感、また、日常の運転での事故予防にも貢献している。社会問題化しているあおり運転の防止対策への活用等、今後の発展や成果への期待が大きく、称賛に値する。	
活動名 (企業団体名)	パティシエを目指すチャレンジド(障がいのある方)を支援する活動 (日清製粉株式会社)
【活動内容】 パティシエを目指すチャレンジド(障がいのある方)を支援するプロジェクト「神戸スイーツ・コンソーシアム(KSC)」を2008年より社会福祉法人プロップ・ステーションと共催。東京や神戸をはじめ全国で、将来パティシエとして働きたい、スイーツの世界で就労したいと望むチャレンジドにプロのパティシエの味と技を学ぶ場を提供。延べ224名、2016年～2020年の5年間で89名が受講・修了。修了生が講習会で学んだスイーツが製品化もされている。	
【評価ポイント】 障がい者のプロとしての成長や自立に本業を通じて長年取り組み、実績を出している。障がい者の支援活動に取り組む企業は多いが、障がい者の夢や未来をサポートする活動は公益性も高く非常にすぐれた取り組みで、称賛に値する。	
活動名 (企業団体名)	「読む」取説から「観る」取説へ“お客様目線”での取説改善取り組み (パナソニック株式会社 アプライアンス社 ランドリー・クリーナー事業部)
【活動内容】 家電製品を使う消費者の多様化、製品の機能アップなどの背景があり、消費者の生の声を聴き実態を把握、改善提案を消費者と一緒に考え、効果を確認するというサイクルを継続して回すことで、「お客様目線」での取扱説明書(以下、取説)や表示の改善に取り組んでいる。2015年から2017年は「読む」取説から「見る」取説へ、2018年から2020年は「見る」取説から「観る」取説へ、2015年から2020年は「見に行く」本体表示から「目に入る」本体表示へと進化を続けている。	
【評価ポイント】 製品事故防止の観点から、消費者目線で利便性を考慮した工夫がみられる。長年の地道な活動により、取扱説明書を着実に進化させてきた努力と業界への働きかけなどの横展開は称賛に値する。今後も効果検証され、ますます発展させることを期待したい。	

2. 募集・選考の概要

- (1) 募集期間 2020年7月3日～10月30日
- (2) 表彰の対象 企業・団体、または個人

(3) 対象となる活動

- ・消費者の自立を支援する活動
- ・健全で安全・安心な消費生活の実現に向けた活動
- ・消費者と企業等の信頼関係向上に向けた活動
- ・消費者市民社会の形成に貢献する活動
- ・消費者も参画した持続可能な社会に貢献する活動

(対象となる活動期間は、表彰を行う事業年度の4月1日を基準とし、過去5年以内のもの)

(4) 選考委員

選考委員長	山田 昭典氏	独立行政法人国民生活センター	理事長
選考委員	中村 年春氏	大東文化大学	経済学部教授
	浦郷 由季氏	一般社団法人全国消費者団体連絡会	事務局長
	青木 秀子氏	一般社団法人日本経済団体連合会	消費者政策委員会 企画部会長
	村井 正素	公益社団法人消費者関連専門家会議	理事長

(5) 応募件数 17件

3. 後援 消費者庁、一般社団法人日本経済団体連合会

*詳細は当会ホームページをご参照ください。

URL: <https://www.acap.or.jp/activity/consumer-oriented-management/acapsho/>

◆本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人消費者関連専門家会議 (ACAP)
事務局長 喜山洋子 TEL : 03-3353-4999 E-MAIL : acap@acap.jp

以上

◆参考

公益社団法人 消費者関連専門家会議 (ACAP)

企業や団体の消費者関連部門の責任者・担当で構成する組織として、1980年(昭和55年)の設立以来、企業の消費者志向経営の推進、消費者対応力の向上、消費者、行政、企業相互の信頼の構築に向けて、各種研修、調査、消費者啓発活動、交流活動等を行っています。

英文表記の the Association of Consumer Affairs Professionals の頭文字をとり、ACAP(エイキャップ)の名前で親しまれています。

会員数	正会員数 694名(543社)。全会員数821名 (2021年2月20日現在)
理事長	村井 正素 (むらい まさし) 住友生命保険相互会社
特別顧問	高 巖 (たか いわお) 麗澤大学大学院経済研究科教授
所在地等	【事務局】 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-14-12 玉屋ビル 5F TEL 03-3353-4999 FAX 03-3353-5049 https://www.acap.or.jp 【大阪事務所】 〒540-0028 大阪市中央区常盤町 2-1-8 FGビル大阪 7F TEL 06-6943-4999 FAX 06-6943-4900